

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
平成 25 年度第 3 回 理事会 議事録

〔開催日時〕平成 25 年 4 月 25 日（木曜日）午前 11 時から 11 時半

〔開催場所〕全日空ホテルズラグナガーデンホテル 2 階「平安の間」
沖縄県宜野湾市志喜 4-1-1

〔出席した理事〕持田譲治、川上守、徳橋泰明、小森博達、紺野慎一、井口哲弘、
加藤真介、加藤義治、川上紀明、高橋和久、橋本友幸、長谷川徹、平林茂、松山幸弘、
米和徳

〔出席した監事〕佐藤哲郎、小西宏昭

〔議事の経過の要領及びその結果〕

持田譲治理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

決議事項

なし

審議・報告事項

1 第 1 号議案 総会の式次第の件

議長は本日 12:25 からの（会員）総会の議事内容および資料について、昨日の評議員
会資料から別冊となっていた委員会報告資料を除き、表彰が加わっただけで、議事の内
容はほぼ同一であると報告した。

2 第 2 号議案 今年度の委員会報告の件

小森博達理事は、委員会のメール審議は今後、委員長マターとし、事務局に別途送信
を依頼する等の業務依頼は控えるよう各理事へ依頼した。Eメール会議の仕方について
は、理事長と庶務担当理事で検討し、5月の理事会以前にメール理事会で報告すること
となった。

3 第 3 号議案 プロジェクトの進捗状況の件

高橋和久理事は今年度から開始予定の新たなプロジェクト)について、企業に計画を
持ちかけ、すでに承諾を得ていることを報告した。5月の理事会で詳細を検討すること

となった。

その他

・JSRの電子化について平林理事より報告があった。いつ・どのように電子化するのかを検討するため、まず7団体の意向を尋ね、いつまでに電子化するかを早めに公示しておき、具体案はその後考えるようにして、5月には方向性を固めることとなった。平林理事は次の理事会までに関連7団体の意向を尋ねることとなった。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成 25 年 4 月 25 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 持田 讓 治

監 事 小 西 宏 昭

監 事 佐 藤 哲 朗